

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・問題設定、仮説、実験・観察、考察、結論、問題設定という学習過程を学年を越えて共有することで、定着につながり、考えの根拠を明らかにし、適切な表現で仮説や考察を書くことができるようになってきている。

(2) 課題

- ・身近な動植物や自然現象に目を向け、興味・関心を高めるために子供たちが理解しやすい実験計画を立てる。
- ・理科の用語は引き続き確実に習得させながら、観察・実験器具の使い方を正確に身に付けさせる。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

|      | 令和3年度結果  | 令和2年度結果  | 令和元年度結果  |
|------|--|--|--|
| 第4学年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・達成率は8割程度である。</li> <li>・どの観点においても目標値を達成している。</li> </ul> |  |  |
| 第5学年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・達成率は7割程度である。</li> <li>・どの観点においても目標値を達成している。</li> </ul> | (第4学年時) <ul style="list-style-type: none"> <li>・達成率は7割程度である。</li> <li>・技能と知識・理解の達成率が目標値をやや下回った。</li> </ul>       |  |
| 第6学年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・達成率は7割程度である。</li> <li>・どの観点においても目標値を達成している。</li> </ul> | (第5学年時) <ul style="list-style-type: none"> <li>・達成率は6割程度である。</li> <li>・どの観点においても目標値に近い数値ではあるが、やや下回った。</li> </ul> | (第4学年時) <ul style="list-style-type: none"> <li>・達成率は7割程度である。</li> <li>・どの観点においても目標値を達成している。</li> </ul> |

(2) 分析（観点別）

① 中学年

| 知識・技能  | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度   |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値を大きく上回っている。</li> <li>・「じしゃくのせいしつ」に関する設問について目標値をやや下回っている設問があった。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値を大きく上回っている。</li> <li>・「光のせいしつ」に関する設問について目標値を下回っている設問があった。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値を大きく上回っている。</li> </ul> |

② 高学年

| 知識・技能  | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度   |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・5年生、6年生共に目標値を上回っている。</li> <li>・5年生は、「1年間の動物のようす」に関する設問について目標値を下回っている設問があった。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・5年生、6年生共に目標値を上回っている。</li> <li>・5年生の「雨水のゆくえと地面のようす」に関する設問で目標値を下回っている設問があった。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・5年生、6年生共に目標値を上回っている。</li> </ul> |

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### （1）中学年

| 知識・技能  | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度   |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・毎回の授業の導入として前時の復習を行い、知識の定着を図る。</li><li>・単元の最後に学習内容をまとめる時間を設け、知識を整理させる。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・仮説を立てる際に、図を活用してその様子を説明させることで、目で見えづらいつら違いを意識して考えられるようにする。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・単元の導入に体験的な活動を取り入れ、児童の関心を引き付けることで、児童が考える面白さを感じながら学習に取り組めるようにする。</li></ul> |

#### （2）高学年

| 知識・技能  | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度   |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・単元の最後には問題演習を行い、基本的な用語を押さえる。</li><li>・動植物を育てたり、観察したりする環境を充実させる必要がある。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・実験の見通しを立てさせることで、結果とその意味を関連付けて考えさせる。</li><li>・結果の検討、共有を行うことで、自分の実験操作を振り返り、結果を正確に捉え、考察させる。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・既習事項や、児童の生活経験と結び付けて問題作りを行うことで、理科の面白さを感じたり理科を学ぶことの意義や有用性を認識したりできるようにする。</li></ul> |